

岩手県 軽米町議会

かるまいの議会だより

会設立30周年記念総会・懇親会

平成30年11月3日 ホテルニューオータニ

No. 216

平成31年1月23日発行

再会にあふれる笑顔

主な内容

- 📁 特集 〔在京軽米会設立30周年〕
ふるさとへの思い 2
- 📁 12月定例会 一般質問に5人登壇 6
- 📁 研修報告 チューリップ観光振興を学ぶ 12
- 📁 インタビュー「かるまい町に住んでみて」 16

関連2分

ふるさと軽米の発展に力を合わせたい



在京軽米会 会長
栗原 千賀子さん
(上増子内出身)

平成最後の在京軽米会総会・懇親会をホテルニューオータニで開催いたしました。設立30周年の節目を迎え、郷土軽米町からも40名以上の参加をいただきました。郷土芸能や特産品販売のほか、軽米産ホップで作ったビールで乾杯し、軽米産シリアルを使った料理は、ホテルニューオータニの中島総料理長に自ら腕を振るっていただきました。近隣のふるさと会のほか、姉妹町音更町の「東京音更会」からは10名の参加をいただき盛況のうちに終了できました。感謝申し上げます。

今後も会員相互の親睦を図り、ふるさと軽米の発展に寄与すべく力を合わせて参ります。2019年は11月9日(土)に開催予定です。皆さんのご参加をお待ちしております。



▲ホテルニューオータニ総料理長の中島眞介シェフ

在京軽米会30周年

特集 在京会会員と語る ふるさとへの思い

在京軽米会(栗原千賀子会長)の設立から30年を迎え、平成30年11月3日、ホテルニューオータニ(東京)で記念懇親会が開催されました。町民参加も募り、町議会からも議員10名が出席。上京から数十年又は、数年の方まで各年代と幅広く交流し、懐かしい思い出話とふるさと軽米への思いを熱く語り合いました。在京会会員のふるさとへの思いと、町からの参加者の声を届けます。

ふるさと軽米への思い語り合う

⑥東京音更会の森田武雄会長
乾杯発声は山本幸男副議長



中学、高校の同級生と出会えて懐かしかったです。おかげさまで40数年ぶりの方にも会うことができました。あまりに嬉しくて3次会まで盛り上がりました。

大村 義明さん
(本町)

同級生にも会えて良い機会となりました。次回は東京の姉妹も誘って参加したい。時間があっという間に過ぎました。

工藤 恵美さん
(蓮台野)

大村 吉美さん
(円子出身)

大野つばさ 副会長
上森 恵美子さん

初めての参加で知らない方も多かったが、同郷ということですので打ち解け楽しかった。中島シェフのシリアル料理は、こんなに美味しいんだと驚きました。次回も参加したいです。

上澤 昭子さん
(緑ヶ丘)

山根 京二さん
(下新町)

参加は2回目。町の参加補助はとても良く、交流とともに継続してほしい。いつも軽米秋まつりに来ていただく方にも会うことができました。出会いを大事にしていきたいです。

大村 文男さん
(仲軽米)

約10年ぶりに参加。初めてお会いする方も多かったが、先輩や同級生と心底交流できました。町民交流のため参加の補助は続けてほしい。また参加したいです。

田名部 晴夫さん
(上新町)

同地区出身の方々と話が盛り上がりました。障害者就労施設でペットフードを作っている方の話は興味深く、良いアイデアを頂き参考になりました。

赤羽 裕子さん
(観音林東)

特に「若鶏の軽米産シリアル黒唐揚げ」がやわらかくておいしかったです。憧れのホテルで一流シェフの料理は最高でした。

小笠原 さゆりさん
(上館)

偶然にも夫の本家のご息とお会いすることができ、新たな出会いに感謝しています。ホテルの食事もしみて、軽米産シリアルを使った料理は上品でとてもおいしかったです。

田澤 定義さん
(民田山出身)

町を離れて40年ほどが経ちました。町の魅力は何といっても「豊かな自然」。これからも大事にしていきたいです。

竹内 正子さん
(米田出身)

石川 悦子さん
(米田出身)

小笠原 千春さん
(晴山出身)

永田 規子さん
(上円子出身)

「かつけ」が大好きでいつも買わせていただいています。

齊藤 れかさん
(小玉川出身)

高校を卒業して以来27年になります。毎年お盆とお正月には帰省していますが、町は変わらずに自然が豊かで、みんな温かく迎えてくれます。町に戻りたいなと思うときもありますね。

君成田 邦雄さん
(下新町出身)

軽米高校同窓会東京支部長を務めています。軽米高校を、そして軽米町を応援したいと思って応援Tシャツを作りました。

畑澤 康弘さん
(長倉出身)

事務局を務めています。これを着てことしの軽米秋まつりには、同窓生みんなで参加したいと思っています。同窓生の参加大歓迎です！

田中 公子さん
(上新町出身)

町を離れて約30年になります。今は横浜市に住んでいて、5～6年に1度ぐらいの割合で帰省しています。都会の生活には疲れを感じることもありますが、軽米は空気がきれいだし野菜も新鮮でおいしくて本当に良いなと思います。

公子さんの娘
田中 瞳さん

≪ 12 月定例会 ≫

請願陳情・補正予算

皆さんからの請願・陳情の審査結果

【請願陳情第 22 号】

＊件名：「消費税 10%増税の中止を求める
請願書」

＊要旨：2019 年 10 月の消費税率 10%
への引き上げ中止を求める意見
書を政府に送付してほしい

＊請願者：岩手県消費者団体連絡協議会
会長 高橋克公 ほか 10 団体

＊紹介議員：古舘機智男、山本幸男

採択
全会一致

意見書提出

衆議院議長、参議院議長
内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣



平成 30 年度一般会計予算の補正

総額 **66 億 4,044 万円**に

一般会計補正予算（第 5 号）の主な内容

【歳入】

- ・基金繰入金（財政調整基金繰入金 3585 万円）
- ・県補助金（岩手県農地中間管理事業等促進関連補助金 108 万円）

【歳出】

- ・北海道胆振東部地震災害義援金（総務管理費 50 万円）
- ・県北分場跡地の譲渡に伴う普通財産取得費（財産管理費 1556 万円）
- ・新萩田 2 号団地（仮称）用地取得費、電柱移転の補償費（住宅費 1825 万円）

会計別歳入歳出予算（12 月 14 日現在）

会計別	予算額	
	今回補正額	予算総額
一般会計⑤	3709 万円	66 億 4044 万円
特別会計	国民健康保険①	— 11 億 9731 万円
	後期高齢者①	— 9170 万円
	介護保険②	— 6906 万円
	下水道事業①	△ 50 万円 1 億 6860 万円

※金額はすべて 1 万円未満の金額を切り捨てています
※表中の○数字は補正措置の回数を表しています

≪ 12 月定例会 ≫

案件と採決結果

番号等	案件内容	掲載 ページ	本会議の 採決結果	審査の 付託先	採決日
議案①	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の一部変更の協議 (紫波、稗貫衛生処理組合が 3 月 31 日で解散することに伴う組織団体数及び規約の変更協議)	—	可 決 (全員賛成)	平成 30 年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会	12 月 12 日 (最終本会議)
議案②	軽米町農業委員会の委員等の定数に関する条例の一部改正 (平成 31 年 4 月 1 日から、農業委員を 2 減の 10 人に、農地利用最適化推進委員を 4 増の 10 人に定数を改正)	P 4			
議案③	軽米町農村情報連絡施設設置条例の廃止 (デジタル同報系防災無線施設への移行に伴う旧施設条例の廃止)	P 4			
議案④	軽米町デジタル同報系防災行政無線施設設置条例の制定 (防災行政無線施設のデジタル化移行に伴う新規条例の制定)	P 4			
議案⑤	平成 30 年度一般会計補正予算（第 5 号） (3,709 万 9 千円を増額補正し、66 億 4,044 万 8 千円に)	P 5			
議案⑥	平成 30 年度下水道事業特別会計補正予算（第 1 号） (50 万円を減額補正し、1 億 6,860 万円に)	P 5			
議案⑦	平成 30 年度水道事業会計補正予算（第 1 号） (収益的支出 300 万円、資本的収入 280 万円、同支出 956 万 1 千円を増額補正)	—			
請願陳情 ②②	消費税 10%増税の中止を求める請願書	P 5	採 択 (全員賛成)	民生常任 委員会 総務教育 委員会	
発議案 ①	消費税 10%増税の中止を求める意見書 (請願陳情②に関連し、政府関係機関に意見書を提出するもの)	P 5	可 決 (全員賛成)		
	委員会の閉会中の所管事務調査について (次の定例会までの間、議運及び各常任委員会の調査活動を認めるもの)	—			

議案
第 2 号

農業委員 2 減、推進委員 4 増

平成 31 年 3 月 31 日で任期を迎える町農業委員（現定数 12）、農地利用最適化推進委員（同 6）の定数を、次の任期からどちらも 10 とする。

問

これまで農業委員の定数を削減してきた中で、農地利用最適化推進委員を増員する理由は何か。また女性の増は検討しているか。

答

最適化推進委員は農地利用の集積を進め、遊休農地の解消及び発生を防ぎ、農地を守る役割がある。人口減少や休耕地の増でその役割は増し、現在の 6 人では足りない状況にある。10 人とし、現地調査等も農業委員と協力して行いたい。女性の登用も積極的に考えたい。

議案
第 3 号
第 4 号

情報無線をデジタル化

既存のアナログ設備が 30 年超と老朽化したため、25 年度から 6 年かけて順次デジタル方式に更新してきた。本年度で工事がすべて完了するため、31 年 4 月から新条例を制定し、既存条例を廃止する。

問

デジタル方式への移行によって聞こえない又は聞こえにくい地域が生じないように万全を期してほしい。

答

機器の更新直後にはそういった事案も一部あったが、今は解消している。

平成 30 年度一般会計補正予算 主な

質疑

12 月 10 日の
補正予算等審査特別委員会から

いちい荘の建設用地を譲渡

特別養護老人ホームいちい荘の建設予定地（旧県北農業試験場跡地）を町社会福祉協議会に無償譲渡するため、土地開発基金からの買い上げ費用を一般会計に補正予算計上した。

【事業費 1, 5 5 6 万円】

問

事業費積算の根拠及び該当する面積は。

答

平成 21 年 3 月に岩手県から 1 ㎡ 1,600 円で譲渡を受けた。今回無償譲渡するにあたり、同じ単価で土地開発基金から買い入れる。面積は 9,726.95㎡。

関連 P 9

〔12 月定例会日程〕

12 月 4 日 招集日（議案上程、特別委員会設置）
6 日 一般質問（3 人）
7 日 一般質問（2 人）、常任委員会
10 日 一般会計補正予算等審査特別委員会
12 日 最終本会議（委員長報告、採決）

平成 30 年
12 月
定例会

12 月定例会（第 28 回定例会）は 12 月 4 日から 12 日まで 9 日間の会期で開かれました。審査を付託した平成 30 年度一般会計補正予算等審査特別委員会（大村税委員長）で質疑応答を実施。12 日の最終本会議で、規約の一部変更の協議 1 件、補正予算 3 件、条例の改廃等 3 件のすべてを可決。請願 1 件の採択と意見書提出を決定しました。

全国大会等への派遣費を助成

町内の小中学生が町外のスポーツ少年団等に参加している場合でも、全国大会等に出場する場合に補助できるよう交付要綱を平成 28 年 3 月に改正。今回、小学生バレーボールと中学生アイスホッケーの東北・全国大会出場補助金を増額計上した。

【補正金額 7 3 万円】

問

町外所属にも助成枠を広げることは歓迎したい。生涯学習振興の面から、大人の全国大会出場にも幅広く助成するよう検討しないか。

答

現在も全国大会等への出場には助成しているが、枠の拡大については検討課題としたい。



なかむら まさし
中村 正志

交流駅構想の遅れ

問 一貫性の無さが原因では

町長 時間をかけ町民意見を取り入れたい

問 これまでの交流駅構想についての答弁には一貫性を感じられず、疑問を感じる。候補地選定に不透明さはなかったか。

町長 当初の候補地が係争中であることが分かり、現在の場所とした。その際土地所有者の了解、議会と町民へ説明し進めてきた。

問 もっと早い段階で計画を公表し、情報提供すべきではなかったか。

町長 報告書は中央商店会と商工会が作成。町の計画ではなく、関わり方が不明瞭な段階での公表は誤解を招く恐れがあり、適当ではないと判断した。

問 担当はなぜ産業振興課なのか。



かるまい交流駅（仮称）建設場所への新たな道路整備も計画されています（写真は、平成29年6月の現地視察の様子）

町長 中心市街地活性化が大きなテーマである。なお、複合施設でもあり関係部局が連携し進めている。

問 整備計画が延長平成36年となった。その原因は。

町長 より町民意見を取り入れるため時間をかけて取り組むこととした。また火葬場や

問 交流駅をはじめ火葬場、いちい荘整備や子育て支援施策などは、当初計画をしっかりと立て、町民とコミュニケーション

町長 交流駅をはじめ火葬場、いちい荘整備や子育て支援施策などは、当初計画をしっかりと立て、町民とコミュニケーション

問

町民への丁寧な説明を

町長

協働参画体制で進めたい

いちい荘の新築も緊急性があると判断し、交流駅整備に先行して取り組むこととした。

町長 特にも重要施策については、役場内の横断的視点から検証を行い進めている。今後も各課の連携と、町民との協働参画体制の充実に努める。

問 町民に対する説明は、始めから丁寧な説明に尽くしてほしい。

町長 常に協働参画のまちづくりを考えている。住民意見を聞き、説明しながら町の将来を描き、取り組みたい。

第28回定例会 5人が登壇

一般質問

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して質問できます
- ・質問項目はあらかじめ事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・同一項目についての再質問は2回までできます
- ・時間の制限はありません

質問議員	質問事項	関連写真
中村正志 (7ページ)	山本町政4期目の重要施策「交流駅構想」計画に一貫性が無かったのではないか	
田村せつ (8ページ)	町のイベントPR 多くの方が参加できるよう積極展開を	
山本幸男 (9ページ)	町長の新聞報道 書類送検の経過説明を	
	いちい荘の新築移転 建設予定地を無償提供する理由は	
	防災対策 防災士資格取得に助成する考えはないか	
	百人委員会 委員会の提言書に対しどう取り組むか	
茶屋 隆 (10ページ)	町の活性化 次期総合発展計画は町民総参加で策定を	
	山本町長4期目の施策 国民健康保険税の負担軽減施策の継続を	
	山本町長4期目の施策 住宅リフォーム助成制度の継続を	
古舘機智男 (11ページ)	子育て支援 保育園民営化は見直すべき	

※掲載されている質問要旨や回答内容は要約していますのでご了承ください。
※質問・回答の全文は会議録形式で、町議会ホームページにてご覧いただけます。



軽米町議会HP QRコード

次回の町議会定例会は

2月28日開会予定です

議会の傍聴にお越しください



町長のわいせつ報道

問 書類送検の経過説明を

町長 告訴時の一般的手続きで、事実無根

【町長】虚偽の告訴で、私をおとしめようとする行為であり絶対に許されない。個人的事項であり、これ以上の答弁は差し控える。

問 町長の新聞報道のその後について伺う。二戸警察署から書類送検されたことが、疑いが高まったことか。

【町長】9月定例会の答弁同様、事実無根に変わりはない。警察から検察に送致されたと聞いているが、事件性の有無に関わらず、告訴の場合に一般的に行われる手続きである。いずれ潔白が明らかになり、不起訴処分になると考えている。

問 事実無根であるならば、積極的に誤解を解く必要があるのではないか。

【町長】虚偽の告訴で、私をおとしめようとする行為であり絶対に許されない。個人的事項であり、これ以上の答弁は差し控える。



町営新萩田2号住宅（仮称）の造成工事が行われる旧県北農業試験場跡地

いちい荘の新築移転

土地無償提供の理由は

町長 早期完成に土地所有者を分離

問 現在の進捗状況を伺う。

【町長】町社会福祉協議会では実施設計を、町は旧農業試験場跡地の分筆登記に向けた測量調査を行っている。

問 町社会福祉協議会との協議に問題はないか。

【町長】両者で整備事業推進部会を組織。財政面、建設、建築法規面などで支援しており問題はない。

問 町内の入所待機者及び介護度3以上の方の数は。

【町長】12月3日現在の入所待機者は、いちい荘72名、くつろぎの家73名。介護度3以上の方は同じく71名と72名。待機者には重複もある。

問 いちい荘建設予定地と、隣接する町営住宅用地の造成に要した費用、財源は。

【町長】いちい荘建設用地の造成は行っていない。町営住宅用地は、29、30年度の2カ年で約1億1324万円、うち国の社会資本整備総合交付金から約5千万円の助成を受けている。

問 建設地を無償提供する理由は。

【町長】都市計画法で、土地所有者が同一の場合、1haを超える事業実施には開発許可が必要となる。手続等で目標年度の完成が見込めなくなるため、譲渡により町営住宅整備を行う町と、いちい荘建設を行う町社会福祉協議会とに所有者を分け、早期の完成を目指す。

冬灯リイルミネーション

問 P R 活動の積極展開を

町長 SNSでのフォトコンテストを計画



12月9日の冬灯リイルミネーション点灯式には、飾り付けを行った16団体ほか多くの町民が見守る中、行われました



「Instagram フォトコンテスト ～かるまいイルミ 2018」
(軽米町観光協会HP) QRコード

町では四季を通じていたイベントをいろいろ開催しているが、町民の参加があつてこそ盛り上がると思う。PR活動はどのように行っているのか。

【町長】ご指摘のとおり、皆さんの参加を募るPR活動は非常に重要である。各イベントでは、ポスターやチラシの作成、広報紙・広告への掲載、町ホームページや情報無線、かるまいテレビなどを用いたPRを行っている。

問 中でも災害復興を祈念した夢灯りや冬灯リイルミネーションにもたくさん参加してほしい。こうしたPR活動はいかに行っているか。

【町長】10月の夢灯りでは、自治公民館長を通じてボランティア募集とチラシの全戸配布を実施した。

冬灯リイルミネーション点灯式には、LED電飾の飾り付けに協力いただいた団体を招待するほか、ラジオ番組での告知やチラシの新聞折り込みを行っている。加えてことしは、SNS（※）でのフォトコンテストを実施した。

【町長】今後は年間イベントの資料等を作成し、各団体組織に配布いただくなどPRを図っていききたい。

問 町内ばかりでなく、例えば在八軽米郷和会など町外からも招待するなど、多くの方に参加してもらえるPR方法を検討しないか。特に、若手職員のアイデアや企画を期待している。

【町長】今後は年間イベントの資料等を作成し、各団体組織に配布いただくなどPRを図っていききたい。

※ SNS＝ソーシャル・ネットワーキング・サービス
インターネットを利用した個人間のコミュニケーションをつなぐ社会的ネットワークサービス。会員制交流サイトには様々あり、フェイスブックやツイッター、インスタグラムなどが多く利用されている。



カメラのほか携帯電話、スマートフォンなどで撮影した画像をSNSで応募できる写真コンテストを実施



ふるだて きちお
古舘 機智男

国民健康保険税

問 町民負担軽減への施策を

町長 慎重に検討、極端な増額は避けたい

子育て支援

問 保育園民営化見直しを

町長 民間の創意と多様性に期待

【町長】 財政効率優先で保育園を民営化することには反対である。見直しを求める。

【町長】 町営に比べ民営は国の財政支援が多

【町長】 国民健康保険の運営主体が県に移行したが、今後も一般会計からの繰り入れで国保税の引き上げはしない姿勢に変わりはないか。

【町長】 保険証の更新時を納税相談の機会と捉え、それぞれの状況に応じた対応をしている。税の公平公正の確保が目的であり、ご理解いただきたい。

【町長】 均等割保険税に象にしない軽減措置を検討しないか。

【町長】 国保関係団体から国へ要望が行われている。町としては保険税が極端に上がらないよう努力したい。

商工振興施策

問 住宅改修助成の継続を

町長 今後も継続したい

【町長】 公園が一つもない町が、子育て支援日本一を標榜する資格は無い。子どもの遊び場の設置を望む。

【町長】 百人委員会での提言もあり、提案を真摯に受け止めたい。既存施設の活用も含め創意工夫していく。

防災対策

問 防災士資格取得に助成を

町長 自主防組織支援の中で検討したい



地域防災活動のリーダーとして防災士の養成は必要不可欠です(写真は、日本防災士機構パンフレット)

【町長】 認定団体の日本防災士機構によると町内で9名が認証されている。

【町長】 自主防災組織活動への助成制度の中で検討したい。



▲日本防災士機構H.P. QRコード

【町長】 認証団体の日本防災士機構によると町内で9名が認証されている。

【町長】 洪水調整池は事業者が巡回監視し、カメラを設置し常時監視を行う。沈砂池は7割ほど土砂が堆積した場合、浚渫(しゅんせつ)の除去)を実施し機能維持が図られることになっている。

【町長】 2期目が終了するが、来年度以降も継続するのか。

町の活性化

問 町民総参加で計画策定を

町長 町民参画で31年度から着手

【町長】 次期総合発展計画の策定は、次代を担う町中堅職員と実践経験豊富なシニア世代、地域おこし協力隊とでプロジェクト推進してはどうか。

【町長】 活性化には人材育成と雇用を生む組織づくりが重要。真摯に受け止め取り組む。

百人委員会

問 提言書への対応いかに

町長 状況を報告、予算化も検討

【町長】 提言書への町の対応、取り組み状況はいかに。

【町長】 員に報告している。31年度の予算編成においても検討していく。



住宅リフォーム助成制度は住民にも業者にもメリットのある事業で継続を望みます(写真はイメージです)

【町長】 影響を考慮しながら、議論が必要と考える。近隣の動向等から検討したい。

研修レポート② 議会報編集常任委員会

議会広報をクリニック診断

- ✳研修月日 平成30年11月8日(木)・9日(金)
- ✳研修内容 広報担当者研修会(岩手県町村議会議長会主催)
- ✳参加委員 茶屋 隆、中村正志、松浦満雄
川原木芳蔵、田村せつ、中里宜博



議会視点で広報紙づくりを

広報担当者研修会に全委員6名で参加しました。岩手県町村議会広報コンクール審査委員も務める芳野政明氏(写真)を講師に迎え、各町村の議会広報を一紙ずつ丁寧にクリニック解説。住民に伝わりやすい言葉で、インパクトある見出しと写真を使い、そして議会ならではの視点で作成するポイントを学びました。もちろんこれからの議会だよりにより活かしていきます！

報告



ちや たかし
茶屋 隆
議会報編集常任委員長

議会広報への思い交換

青森県 外ヶ浜町議会
視察来町



▲外ヶ浜町 HP
QRコード



互いの議会広報紙を比較しながら意見交換しました
(写真は、本町編集委員と外ヶ浜町議会広報特別委員)

長が11月13日、視察研修で来町されました。
全国奨励賞も受賞

平成30年11月9日に東京・赤坂御苑で開かれた秋の園遊会に松浦求議長が出席しました。副会長を務める岩手県町村議会議長会からの推薦で、ちか子夫人とともに招待。天皇・皇后陛下に拝謁いたしました。

平成最後の秋の園遊会



秋篠宮様も列席された平成30年秋の園遊会

お気遣い感谢您

平成最後の園遊会にご招待いただきました。あいにくの雨模様でしたが、天皇后陛下の出席者へのお気遣い感谢您いたしました。皇族の方々には独特のオーラを感じ心洗われるようでした。



まつうら もとむ
松浦 求 議長



読みやすい紙面づくりを誓う安藤委員長(中)と鈴木議長(右)

議長と委員5名来町
議会広報紙の編集や委員会活動についての研修に、青森県外ヶ浜町議(鈴木進議長、定数11)の議会広報特別委員会(安藤英博委員長)委員5名と鈴木議長

外ヶ浜町議会は27年度の全国町村議会コンクール奨励賞の実績があります。29年度に本町議会広報紙が全国奨励賞を受賞したことから視察来町。読みやすい紙面づくりや定例会後の早期発行について参考にしたなど、互いの広報紙を手幅広く意見交換しました。

研修レポート①



約7haの園内におよそ21万本のチューリップで地上絵が描かれる
チューリップフェア会場(砺波市「砺波チューリップ公園」、5月)

富山県砺波市(とんみし)

■人口4万9,000人 ■世帯数1万6,220 ■面積127.03km²
■議員定数18人 ■30年度一般会計当初予算220億5千万円
住みやすさランキングでは全国上位に。平野に家屋が点在する「散居村」景観も有名。全国一のチューリップ球根の生産地で、毎年春には「とんみチューリップフェア」が開催され国内外から数多くの観光客が訪れる。



▲砺波市 HP
QRコード

産業建設常任委員会

- ✳研修月日 平成30年11月1日(木)・2日(金)
- ✳場所と研修テーマ
①富山県砺波市:チューリップによる観光・産業振興
②石川県津幡町:ブランド認定制度による地域振興等
- ✳参加委員 大村 税、館坂久人、山本幸男
川原木芳蔵、中村正志、中里宜博

※各市町の人口、世帯数はH27国勢調査

チューリップの観光戦略に学ぶ

町観光施策について事前に勉強会を行い視察に臨むことができた。砺波市の街頭にはチューリップデザインの標識が多く、取り組みも「日本一」にふさわしい観光戦略であった。担当職員の自信を持った説明にも感銘を受けた。

報告



おおむら みつぎ
大村 税
産業建設常任委員長

反収は40万円超
砺波市のチューリップ球根栽培の歴史は百年を超え、栽培技術が受け継がれる。球根栽培の反収は40万円を超える。一方、肥培管理の技術習得はにわかには難しく、進まない機械化も課題で後継者問題が深刻化している。

広域観光でPR展開

観光客は近隣の黒部ダムと連携したツアー企画で、年間180万人前後が訪れる。特に北陸新幹線開業を契機に、首都圏での大型観光PR、インバウンド(外国人観光客)戦略を展開。台湾をターゲットに観光客誘致に力を入れる。その予算の規模は大きく、隣接

津幡ブランドを返礼品に活用



▲津幡町 HP
QRコード

石川県津幡町(つばたまち)

■人口3万6,968人 ■世帯数1万2,545 ■面積110.59km²
■議員定数16人 ■30年度一般会計当初予算126億円
石川県の中央に位置し、本州一広い「石川県森林公園」を有する。平成25年3月に森林セラピー基地に認定。津幡ブランドの認定、企業誘致にも積極的に取り組んでいる。

一次産品も認定

津幡町のブランド認定制度は町総務課が担当。広く町内の逸品を選考しようと一次産品も含め認定する。ロゴマークのシールも統一。認定品にはふるさと納税返礼品に使用されるメリットがある。森のセラピー基地は広大な県立公園を使った健康づくりがテーマ。ウォーキングや健康食講座をメインに、



津幡町の道の駅「倶利伽羅源平の郷」の売店に並ぶ津幡ブランド認定品「倶利伽羅そば」

セラピーガイドの養成も積極的に行う。

オーダー型企業誘致

金沢市に隣接する同町には企業の進出が続いている。進出企業の要望も多様化し、意向に合わせた適地を町が取得と造成、手続きまで支援する「オーダーメイド型」の企業誘致を展開。かかる費用も先行投資との意識で積極姿勢で取り組む。

町議会の動き

(平成 30 年 10 月～ 12 月の主要な行事)

月	日	曜	行 事 名
10月	1	月	北部地区町村議会議長会県選出国会議員との懇談会 (東京都)
	2	火	北部地区町村議会議長会行政視察 (山口県・福岡県、～4日)
	10	水	議会報編集常任委員会視察研修 (東京都・埼玉県、～11日)
	15	月	カシオペア連邦議会議員協議会活動交流集会 (九戸村)
	17	水	岩手県町村議会議長会政務調査会研修会 (京都府、～19日)
			議会報編集委員会
	20	土	県立軽米高等学校創立 70 周年記念式典
	21	日	食フェスタ in かるまい 2018
	26	金	総務大臣感謝状贈呈式 (東京都)
	29	月	産業建設常任委員会、議会報編集委員会
11月	31	水	二戸地区広域行政事務組合議会定例会 かるまい議会だより第 215 号発行
	1	木	産業建設常任委員会視察研修 (富山県・石川県、～2日)
			全国町村監査委員研修会・功労者表彰式 (東京都、～2日)
	3	土	在京軽米会設立 30 周年記念総会・懇親会 (東京都)
	7	水	カシオペア連邦議会議員協議会役員会 (二戸市)
			議会運営委員会
	8	木	岩手県町村議会議長会広報担当者研修会 (花巻市、～9日)
	9	金	秋の園遊会 (東京都)
	13	火	青森県外ヶ浜町議会議会広報編集視察受け入れ
	17	土	フォーラム「縄文から続くカシオペアの伝統文化」(二戸市)
12月	20	火	岩手県後期高齢者医療広域連合議会 (盛岡市)
	27	火	議会運営委員会
	29	木	議員全員協議会
	30	金	軽米町百人委員会全体会



全国町村監査 功労者表彰

町村監査委員 7 年
〔平成 30 年 11 月 1 日・東京〕

まつうら みつお
松浦 満雄 議会選出
監査委員
〔監査委員歴〕
①平成 19 年 5 月～ 23 年 4 月
②平成 27 年 5 月～現在

議長交際費

10 月 1 件 3,000 円
11 月 1 件 5,000 円
12 月 1 件 21,600 円



議長交際費は議長等が町議会を代表して総会等の行事へ参加する際の経費です。詳しくは町ホームページをご覧ください。

月	日	曜	行 事 名
12月	4	火	第 28 回軽米町議会定例会本会議 (会期：～12 日)
	6	木	定例会一般質問
	7	金	定例会一般質問、総務教育民生常任委員会 産業建設常任委員会、議会報編集委員会
12月	9	土	かるまい冬灯り点灯式
	10	月	平成 30 年度軽米町一般会計補正予算等審査特別委員会 議会運営委員会、議会報編集委員会
	12	水	定例会最終本会議、議員全員協議会、町政調査会幹事会
	21	金	二戸地区広域行政事務組合議会臨時会

議会のはてな？ しくみを教えて！⑪

ちょうぎかいぎいんせんきょ 町議会議員選挙

市町村議会の議員定数は条例で定められる。軽米町議会は現在 14 で、次の一般選挙 (本年 4 月 21 日予定) から 2 減の 12 となる。30 年 6 月定例会で条例改正した。

無投票、補欠選挙も

議員選挙は、任期満了以外に議会が解散した場合にも行われる。立候補者が定数と同数又は達しない場合は無投票当選となり、補欠選挙も行われる場合もある。

現任期は 4 月 30 日

一般選挙で選出された地方公共団体の議会の任期は、地方自治法で 4 年とされている。現在の軽米町議会議員の任期は本年 4 月 30 日まで。議長・副議長、各常任委員及び正副委員長、議選監査委員などの職も議員の任期とともに任期満了となる。

定数は 2 減の 12 に

検証

追跡

あの「検討します」は… どうなった？⑨

議員の質問に対して「検討する」などと回答したものが、その後どのように対応し、どうなっているのかを追跡し、検証するコーナーです。

平成 30 年 3 月、6 月定例会
一般質問 から
Pick up!

特別養護老人ホームいちい荘 移転新築と合わせ、 長期入所者向けベッド増床の検討を

問 町社会福祉協議会からの要望を受け、短期入所枠の一部を長期入所者向けに組み換えるよう二戸地区広域行政事務組合に要望している



入所待機者の解消は喫緊の課題

その後は…

平成 30 年 10 月 22 日の二戸地区広域圏内市町村長会議で 短期 4 床分を長期用への利用変更が認められた



移転新築に合わせ長期入所者用 4 床増での開所見通しとなった特別養護老人ホームいちい荘

〔解説〕

特別養護老人ホームいちい荘の移転新築が進められる中、長期入所待機者の解消に向け、新築に際して長期ベッドの増床が必要ではないかとの一般質問での質疑や特別委員会においても議論されてきた。

運営主体の軽米町社会福祉協議会から長期入所者枠の増床について町に要望があり、町では介護保険事業主体の二戸地区広域行政事務組合に対して長期入所者枠の増床 (短期入所者枠からの組み替え) を要望していた。

30 年 10 月 22 日の市町村長会議において短期枠 4 床分から長期への組み替えが認められたことを、同年 12 月定例会に町長が政務報告を行った。

かるまい町に住んでみて

町民インタビュー Vol. ⑭



かねひら たかしげ
兼平 爵臣 さん

盛岡市出身 38 歳 (蓮台野)
妻・長女の 3 人家族

みき
妻・美希 さん

さくら
長女・桜花 ちゃん

転勤から丸2年に

☞ 軽米町で暮らすきっかけは？
軽米高等学校への転勤で、平成29年4月に家族3人で引っ越してきて丸2年が経ちます。軽米町はみんな初めてでした。

イベントが盛んな町

☞ 町に住む前と後の印象はどう変わりましたか？

恥ずかしながら「風車とチュウリップ」の町、そしてこれまでにお世話になった軽米町出身の方々の印象から「まじめな方が多いな」という感じしかありませんでした。実際に暮らしてみると静か^{のどか}で長閑で過ごしやすく、娘からは「軽米にお家を建ててね」とせがまれています。

募集しています

このコーナーの出演者を募集しています。主に町外から軽米町に来られた方で、町への提言、思いなどをお寄せください。自薦・他薦は問いません。
議会事務局又はお近くの町議会議員までお問い合わせください。

またスポーツ活動やお祭りなどのイベントが多く、とても盛んだなとも感じています。スポーツや文化活動は情操の豊かさにもつながるので、地域一丸となつて取り組んでいるところが素晴らしいと思います。

遊戯施設と公園を

☞ 町がもつと住み良くなるためには何が必要だと思いますか？

いろんな商業施設が充実するといいですね。子育てにはとても良い環境なので子ども服屋さんとか、遊戯施設、公園が近くにあればいいよねなどとよく家族と話します。

地域貢献を後押し

☞ 町づくりへの思いを一言？

地元出身のお医者さんが少ないとの話を聞きます。医療や福祉で地域貢献しようとする若い人や志望する生徒のお手伝いができたらと思っています。

かるまい
議会だより

発行日 平成31年1月23日発行 (No.216)
発行者 軽米町議会 議長 松浦 求
編集 議会報編集常任委員会
〒028-6302 岩手県九戸郡軽米町大字軽米 10-85
TEL 0195(46)2111 / FAX 0195(46)2335
URL <http://www.town.karumai.iwate.jp/>

議会報編集常任委員会

委員長 長 隆
委員長 正志
委員 中村 満雄
委員 松浦 芳蔵
委員 川原 せつ
委員 田村 宜博
委員 中里

茶屋 隆
中村 正志
松浦 満雄
川原 芳蔵
田村 せつ
中里 宜博

軽米町議会だよりはこちらから

